

浅草小学校 開校 147 周年

明治 6 年 5 月 24 日 「並木学校」開校

5月24日は浅草小学校の開校記念日です。今から147年前、今の浅草公会堂の向かいがわにある普通の住宅を校舎として開校しました。先生は4人、子供は70人で「並木学校」という名前でした。台東区内の小学校では1番古く、卒業生は全部で14648人です。

校歌の作詞は卒業生で歌人の土岐善麿氏

現在の校歌は昭和28年5月24日にできました。作詞は浅草小学校の卒業生である土岐善麿氏。作曲は当時本校の先生だった長妻完至氏です。土岐善麿氏は明治・昭和の時代に活躍した歌人・国語学者です。全国の学校の校歌を作詞し、その数は残っているだけでも280曲あります。「台東区の歌」の歌詞も氏によるものです。

校歌の2番の歌詞「わかばかげ とぶしらなみ～」この「しらなみ」は学校のプールの波のことで、台東区内でできたプール第1号だったそうです。ホームページから校歌が聞けますので、どうぞお聞き下さい。

シンボルマークは、トンガリ帽子の時計台とステンドグラス

今の校舎は昭和59年1月20日に完成しました。浅草らしさをいかし、夢と楽しさあふれる学校にしたいと、当時の方々がアイデアを駆使してつくりました。トンガリ帽子の時計台は浅草の町に近付くと遠くからでも目印になるように。そして玄関の吹き抜けのステンドグラスは浅草の四季と子供たちの姿が描かれています。また、校庭には浅草の風物詩が描かれた壁画が飾られています。広々としたオープンスペースやレッスン室を備えた音楽室など、豊かな教育ができるように工夫されました。

これまで147年の歴史を刻み、浅草小学校のために力を尽くしてきてくださった方々に心より感謝し、これからもずっと愛される学校として発展していくように、皆さんと力を合わせて歩み続けます。